

平成 23 年度 伊勢地域公共交通会議 第3回 議事要旨

■ 開催概要

日時：平成 23 年 10 月 25 日（火）14:30～

場所：伊勢市役所 東庁舎 4-2 会議室

出席者：全 14 名

市民代表 2 名

一般乗合旅客自動車運送事業者

1 名（三重交通伊勢営業所所長）

一般旅客自動車運送事業者

1 名（三重県旅客自動車協会伊勢支部長代理）

一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車運転者が組織する団体

1 名（三交伊勢志摩交通労働組合）

中部運輸局三重運輸支局

1 名（首席運輸企画専門官）

三重県伊勢警察署 1 名（交通第一課長代理）

三重県 1 名（三重県政策部交通政策室長）

伊勢市 2 名（市長・都市整備部長）

事務局 4 名（伊勢市都市整備部交通政策課）

■ 議事内容

1. 平成 24 年の運行(案)について

事務局より、平成 24 年の運行(案)について、資料を用いて説明。

【地域検討部会の結果について】

運賃体系の見直し（中学生：200 円→100 円、高齢者運賃適用年齢の引き上げ：65 歳→70 歳）という意見ですが、これは中学生が利用しているということですか。それで、そういう要望があったのですか。（市民代表）

⇒そうではなく、どちらかというと、高齢者も 65 歳はまだ若いから 70 歳にして、そこで増収にした分、子どもはもう少し乗りやすいように、中学生は自分らでも行けるではないかというようなご意見でした。その場では、電車でも何でも小学生までが半額になってますので、その料金体系を一般的なところで参考にしています。高齢者はどちらかというと、手厚くしたってほしいという意味で 65 歳からにしてるのですが、その方は知らずに言ったのかなということ、一応、ご意見は承りましたので、このような考え方はしないと、その場で、このままで行かせてほしいと言わせていただきました。（事務局）

今、中学生は自転車通学とかしているので、多分あまり利用していないという気がしたので、また、通学に公共交通を使うというのも、健康上とか、いろんな何か問題になるのかなと思います。
(市民代表)

⇒実は、その学校のというのは大きな課題がありまして、ただ、自転車で通学するよりは、バスで通学するほうが、安全という意味からすれば、はるかにバスのほうが安全ですので、我々はそういう考え方も持っています。それとは別に、今後、スクールバス、地域によって若干違いますので、条件が総括的には言いにくいところがありますが、そのあたりも視野に入れていきます。(事務局)

通学の距離の問題だと思いますので、あまりそうなってしまうと、中学の時代の登校で体力をつけるということも正直あると思います。そのへんも踏まえて、幅広く考えて、安全な通学ができるような環境を作るという、幅広く考えていただけたらいいかなと思います。(市民代表)

運転手の立場から言いますと、おかげバスには学生はそんなに乗っていません。その中でいろいろPRして、もっと乗ってもらおうという方向になったとしたときに、正直言って、中学生と高校生の私服で見分けが全然つかないです。よその地域で中学生が半額というところがあって本当にこの子が中学生なのかと、止めて聞くことは正直できません。皆半額で降りて行くというと、やはり運賃の減少になりますので、正直どうかなのというのがあります。(三交伊勢志摩交通労働組合)

⇒これは、しないということでは言わせていただきました。(事務局)

この地域検討部会の意見というのは、今回の見直し案の提示を各地域毎に説明した際に色々な意見が出てきましたというのを説明いただけてますけど、この意見に対しての対応というのは、今後どうしていくのか。(三重運輸支局)

⇒平成24年の運行(案)は申し上げて、意見はその他の項になるのかなと思いますが、主な意見をこのように列記させていただきました。その対応については、できるものは即するのですが、基本的には次の年度に時間をかけてやるべきものが多いのかと。例えば、日赤のようにこちらが用意しているものもありますし、幅広く意見を伺って、基本的にはその場で出た意見については、平成24年度にはあまり生かせないだろうと。ですから、今の場では、こういう意見がありましたので、またご意見をもらって、それぞれ運行事業者とも協議しながら進めていきたいと考えています。(事務局)

デマンドの実際のところ、評判は予約の仕方から含めて、どんな意見があったか具体的に聞かせていただきたいのですが。(三重交通)

⇒正直、利用者からは、やはり高齢者であるため、予約が面倒くさいという意見はいただいています。それが、もしかしたら、利用者の減につながっているのかなと思っています。ただ、これは、今までの先進事例から見ても、想定内といいますか、若干下がるのだろうということは、私どもも見ています。この前、地元に入った感触では、もっとPRをしていったら、なんかタクシーで行けるので得したような気がするというようなことは言っていましたので、PR次第かなと。
あと、もう一つは特に東部エリアでの意見ですが、日赤に行けるようになるのなら、たくさんの方が乗って、タクシーの数が足りないのではというような意見もいただきました。PRをこまめに時刻表とターゲットを絞って啓発をかけていきたいと思っています。それで、伊勢病院の玄関で相談窓口を開いたところ、やはりデマンドの存在を知らなかったとか、おかげバスそのものも知らなか

ったという人もいましたけど、タクシーで来た人は、「そんなに安くで行けるのなら利用するわ」という意見もありましたので、やはり、乗ってもらえる人をターゲットに今後啓発をかけていきたいと考えています。(事務局)

【平成 24 年の運行(案)について】

日赤が 1 月に移ると、おかげバスは新しい日赤へ行くだけで、旧日赤へは行かなくなるのか。
(市民代表)

⇒御菌ルートについては、現在のところ、1 月からは旧日赤のバス停は廃止する方向で考えています。今は病院の中で転回していますが、旧日赤が移転すると使えなくなるので、また新しい何かができるという状況になれば検討したいと考えています。また、東大淀・日赤ルートについては、旧日赤の前の道路上でバス停の名前を変えて利用していくように考えています。(事務局)

旧日赤の周辺の人らは、ショッピングに行くのに御菌ルートに乗っていくのが楽なんだと言っている。ここは、結構人が集まりやすいところで、病院がなくなっても、市民生活にバスが必要ではないか。(市民代表)

⇒東大淀・日赤ルートで新日赤には行けるのですが。(事務局)

⇒恐らく、あれだけ膨大な土地なので、何らかの有効活用という話は出てくるでしょうから、それが動いてきた段階で整理をして対応させてください。(議長)

日赤移転に伴うルート変更で、御菌と東大淀・日赤ルートというのは、日赤で乗り継ぎが可能なダイヤが組まれていたのですが、要は、ルートの延長だけの提示があって、実際に今までできていたサービスがこの延長に伴って確保できるのかというダイヤを提示いただいた方がわかりやすいのではないかと。(三重運輸支局)

⇒今現在の時刻表で利用している方がいますので、この時刻を大幅に変えると、与える影響が大きいということから、このダイヤを基準にして 5 分、10 分とかの時間調整をして、ダイヤを考えていきます。(事務局)

延長することによってかかる時間というのは当然必要になってきますので、新しいルートに対してのダイヤを提示いただくのが、先ずいるのではないかと。(三重運輸支局)

⇒ある程度の案は持っているのですが、今後、余裕をもって事業者とも調整しながら、時刻のことも提示しながら説明したいと思いますので、よろしくお願いします。(事務局)

平成 24 年の運行(案)となっているが、歴年で見直しをしているのか、年度で見直しをしているのかお伺いしたい。もう一点、日赤の移転に伴い、駅から日赤へのいろいろな送迎サービスなり何かできるのか、情報があれば教えてほしい。(三重県)

⇒伊勢市のおかげバスは、年度で見直しをしていますが、今回、日赤の移転に伴い 4 月の見直しを 3 ヶ月前倒しするという考え方になります。それと、日赤の移転に伴う今後のバスの関係ですが、今の段階で聞いているのは、日赤が伊勢市駅北口から無料のシャトルバスを出すと聞いています。あとは通常の路線バスになりますので、三重交通の方がよくご存知だと思います。(事務局)

日赤からは、伊勢市駅の北口から日赤へ向けて、シャトルバスという名前ですが、実際は、ジャンボタクシーのようなハイエースで輸送するような話は今いただいています。御園ルートでルート延長すると、これは非常に長い区間になりますが、バス停の設置の予定は考えてないのか。

(三重交通)

⇒一之木のバス停は既存のものになりますが、新たに追加することはありません。(事務局)

二見ルートで伊勢学園前のバス停の希望が出ているようですが、これは、実際父兄の方からバスを利用したいという話が出ているのか。(三重交通)

⇒特に雨の日とかだと思のですが、通学時間に使うときに、今までは河口外科のバス停から歩いているので、特に朝の便だけでもいいので、伊勢学園の前にも停めてほしいという要望をいただいています。(事務局)

伊勢学園へ入れて、Uターンして、松尾観音の方へ戻るという考えですか。伊勢学園に寄ることによって、五十鈴川駅前の時間を以前に早めた経緯もあると思いますが。

(三重交通)

⇒二見の方から伊勢学園前を通って、伊勢トピアを経由して、松尾観音の方へ行くルートになっています。五十鈴川駅前のダイヤも確認して調整します。(事務局)

1日券はどのような形になるのか。(三交伊勢志摩交通労働組合)

⇒乗継券で、次のバスへ乗っていた人が、乗継券の代わりに最初のバスで1日券を買っていただき、次のバスとかその次のバスとか、帰りにその1日券を使っていただけます。(事務局)

今の乗継券のような発行の仕方、いわゆる、スタンプを押して、乗継券を発行してますよね。それと同じような感じで、それがただ単に1日券に代わるだけなんです。そうすると、回数券は別のところに入れるのと、この400円は金庫に入れるのかとか、その辺はどうなるのか。

(三交伊勢志摩交通労働組合)

⇒現場の料金収集のやり方は、今後、詰めさせていただきます。(事務局)

1日券の導入も1月からということによろしいか。(三重運輸支局)

⇒そうです。その予定です。(事務局)

日赤の方の意見というのは聴取しているのでしょうか。日赤の利用者に対する公共交通機関をどのように考えているのか、日赤自体の考え方ですね。私の感触では、利用者の交通の流れ、自家用車を一緒に考えているような道路の構成になっています。取り付け道路の幅員もかなり鋭角に入っているし、玄関先のロータリーの幅員についても、大型バスですと恐らく旋回ぎりぎりという形になっています。そこへ、日赤のシャトルバス、路線バス、おかげバス、タクシー、いろいろな交通機関が流入してくることになりますので、日赤はどういうふうな考え方で、それを期待しているのか、その辺も一回聴取して、その上で、ダイヤの連携、調整を図った方が、後々いいのではないかと思います。先ほどもありましたように、基本的に日赤がハブになるという考え方で、これからの運行をするのかどうかというところだと思います。

合わせて、現在の日赤もどうなるかというの、確かに、走らせるにも転回する場所がなくなってしまうので、物理的に無理だと思います。(伊勢警察署)

⇒早速、日赤とも調整させていただきたいと思います。(事務局)

実際の運行になってから意見として出てくるかもしれないと思うのは、近隣のバローさんの商業施設が、日赤まで行くと寄ってほしいという、お買い物したい方が用が足りるということも含めて、乗られる方の満足につながるかと思います。(市民代表)

⇒その辺、あるのかなと思っていますが、具体的にはまだ検討課題の一つだと考えています。
(事務局)

⇒食料、ホームセンター、風呂、本などの複合施設になってくるとと思いますので、恐らくその拠点となる形で利用者が増えるだろうということはあるので、それを確認しなければと思います。その後、ダイヤの乗り継ぎの話と、ご意見いただいた日赤側さんの受け入れのさばきをどういうふうにしていくかというのが、多分、三重交通と同時刻に入ったらとかそういうことも含めて調整をしていただきたいと思います。(議長)

新規の乗り入れとか、運輸支局さんも含めて相談を進めていただかなければ、時間が非常に限られていますので、1月からということだと、あと2ヶ月ということ、ダイヤもまだ未確定、また、免許をとったりという作業もありますし、この新たに導入する1日乗車券となると、またこれは、運賃の認可等も必要な部分もありますので、ちょっとタイムスケジュールがかなり厳しいと思います。そのあたり、運輸支局と相談していただいて、間に合わせていただければ、そのような形で対応します。(三重交通)

⇒まずは、その路線を固めることをきちっと固めて、この乗車券の変更については柔軟にスケジュールを組んで対応してください。(議長)

東大淀・日赤ルート近鉄線との連絡について、1月からの変更ということですが、鉄道のダイヤ改正が3月からとなっています。これ1月に改正して乗り継ぎをよくしても、もしかすると、次の改正で乗り継ぎがうまくいなくなるという可能性もあると思いますので、事前に情報をとっていただいて、なるべくまた3月のダイヤ改正で修正を出さなくても済むようにしていただいた方がいいかなと思います。(三重県)

⇒色々たくさんのご意見を頂戴しました。この平成24年の運行(案)については、柔軟に対応するということも踏まえてご了承をいただきたいと思います。(議長)

デマンド方式にすることによって、利用者は減るということは想定していましたという話で、それを単純に利用者人員の変化だけで、このシステムを評価していくというのは非常に危険かなと思っています。色々な角度からもう少しこの内容を検証していただければいいかなと思います。単純に、今まで我々も他の自治体のケースを見せていただいて、同様に全体的な利用者数は前と比べると落ちます。一方で、全体的な負担というの、減っています。それはそれでいいんですが、1人あたり輸送するためのコストとしてどうかというのを見たときに、必ずしもそれが減っているということができない傾向も出てきます。ですから、何をもって、こういうシステムに変えたあとの状況を評価とか確認していくかという部分についても、色々な角度から見ていただきたいと思います。(三重運輸支局)

⇒多面的に検証する作業、視点というのは、またご指導もいただきながらしていきたいと思います。
(議長)

他の公共交通機関もそうでしたが、9月に台風が2つ来て、だいぶ運休になったりしていました。今回の9月のバスの乗車実績、運休等あれば、そのあたり影響が大きかったと思いますが、何日、何便くらいか、わかれば教えていただきたいのですが。(三重県)

⇒台風の影響を受けたのは、2日運休してまして、それで確かにここで下がっているのだろうなという事は分析しています。(事務局)

今朝の署長の訓示で、三重県の1万人アンケートの結果の発表がありまして、改善を求めているのかなという気がしたのが公共交通、それから医療。まさに、日赤とおかげバスの問題かなと思って聞いていました。こちらに住んでいる方自体、公共交通の充実を求めている点を考えて、デマンドバス、それからコミュニティバス、これが多分コストを考えないといけないのですが、始めた以上はなくせるものではないと思いますので、その辺もまた部会なりで話を進めていただきたらと思います。ただ、そういう住民のニーズが実際反映されているかどうかという検証が必要ですね。(伊勢警察署)

またダイヤのことについては、ある程度の段階で、皆さんにお知らせも必要かと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。